

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 4

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

うきうき

うかうか

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・明日の遠足のことを考えると、() () する。

・ () () していると、すぐ夕方になってしまう。

・ () () した気分で、思わずスキップしたくなった。

・ () () していて、追い抜かされてしまった。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 4

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)
擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

うきうき	略
うかうか	

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

<ul style="list-style-type: none"> ・明日の遠足のことを考えると、(うきうき)する。 ・(うかうか)していると、すぐ夕方になってしまう。 ・(うきうき)した気分で、思わずスキップしたくなった。 ・(うかうか)していて、追い抜かされてしまった。
--

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

心待ちにしていた運動会が近づき、うきうきする。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 5

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

うすうす

うずうず

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・次の実験をやってみたくて、()していた。
- ・このままだと失敗することに ()気付いていた。
- ・あの人は、絵を描くことが得意だと ()知っていた。
- ・じっとしていられなくて、()する。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 5

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

うずうず	うすうす
略	

2 次の文のそれぞれの () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・ 次の実験をやってみたくて、(うずうず) していた。
- ・ このままだと失敗することに (うすうす) 気付いていた。
- ・ あの人は、絵を描くことが得意だと (うすうす) 知っていた。
- ・ じっとしていらなくて、(うずうず) する。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

早くクイズの答えが知りたくて、うずうずする。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう6

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

くるくる

ぐるぐる

2 次のそれぞれの文の()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・あの人は、()とよく働く。

・紙テープを棒に()と巻き付ける。

・道に迷って、同じ所を()回っている。

・このダンスは、()と動きながら隊形移動する。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

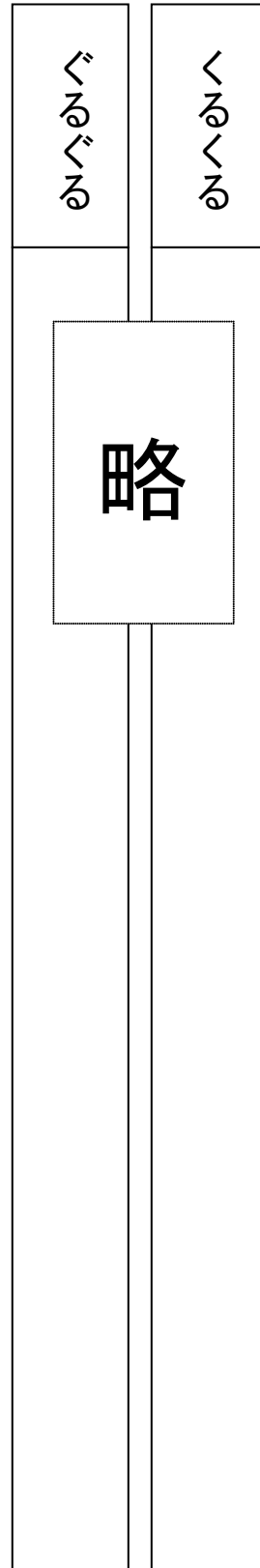
擬音語・擬態語を使いわけよう6

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。



2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

(ただし、一つだけ両方入るものがあります。その場合には、() の中に「○」を書き入れましょう。)

- ・あの人は、(くるくる) とよく働く。
- ・紙テープを棒に (○) と巻き付ける。
- ・道に迷って、同じ所を (ぐるぐる) 回っている。
- ・このダンスは、(くるくる) と動きながら隊形移動する。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

とんぼを捕まえようと、わたしは人差し指をくるくると動かした。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 7

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

ころころ

ごろごろ

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・川の上流には、大きな岩が() 転がっている。

・先週の日曜日は、家で() していた。

・机の上から大豆が() と転がり落ちた。

・() とした子犬が向こうから走ってきた。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年
高

擬音語・擬態語を使いわけよう 7

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

ころころ	ころころ
略	

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

<ul style="list-style-type: none"> ・川の上流には、大きな岩が()ころころ()転がっている。 ・先週の日曜日は、家で()ころころ()していた。 ・机の上から大豆が()ころころ()と転がり落ちた。 ・()ころころ()とした子犬が向こうから走ってきた。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

あの人の意見は、ころころとよく変わる。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 8

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

くっくっく

くっくっく

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・毎日、() と素振りをした成果が現れた。
- ・長年働いてきた人の手は、() している。
- ・あの山は、() とした岩が多い。
- ・河原で小さい石を () と積み重ねた。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

学 年
高

擬音語・擬態語を使いわけよう 8

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

じゅじゅじゅ	じゅじゅじゅ
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 略 </div>	

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・毎日、(じゅじゅじゅ) と素振りをした成果が現れた。
- ・長年働いてきた人の手は、(じゅじゅじゅ) している。
- ・あの山は、(じゅじゅじゅ) とした岩が多い。
- ・河原で小さい石を (じゅじゅじゅ) と積み重ねた。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

校庭にあるさくらの木の幹は、さわると(じゅじゅじゅ)している。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 9

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)
擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

はらはら

ぱらぱら

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・ついに、雨が()と降り始めた。

・休日に公園に出かけてみたが、そこには人が()としかいなかった。

・桜の花びらが、()と舞い落ちる。

・卒業式では、みんな()と涙を流した。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 9

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

はらはら

ぱらぱら

略

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・ついに、雨が(ぱらぱら)と降り始めた。

・休日に公園に出かけてみたが、そこには人が(ぱらぱら)としかいなかった。

・桜の花びらが、(はらはら)と舞い落ちる。

・卒業式では、みんな(はらはら)と涙を流した。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

図書室で手に取った本をぱらぱらとめくってみた。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう10

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

へらへら

ぺらぺら

2 次のそれぞれの文の()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・おこられても、() 笑うのはいけない。

・私の兄は、英語が() だ。

・真剣に話しているのに、() するのは失礼だ。

・昨日買った布は、() だった。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう10

年 組 氏名

1

次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

へらへら

へらへら

略

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

2

次のそれぞれの文の()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・おこられても、(へらへら)笑うのはいけない。

・私の兄は、英語が(へらへら)だ。

・真剣に話しているのに、(へらへら)するのは失礼だ。

・昨日買った布は、(へらへら)だった。

3

1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

厚紙で箱を作ろうとしたが、思ったより紙がへらへらでうまくできなかった。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 1 1

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

すたすた

ずたずた

2 次の文のそれぞれの () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・服が () にさけてしまった。

・駅の構内を () と歩く。

・姉は、わたしをおいて () と行ってしまった。

・ () になった布を集めて、再利用する方法を考える。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年
高

擬音語・擬態語を使いわけよう 1 1

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

ずたずた	すたすた
略	

2 次の文のそれぞれの () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

<ul style="list-style-type: none"> ・服が (ずたずた) にさけてしまった。 ・駅の構内を (すたすた) と歩く。 ・姉は、わたしをおいて (すたすた) と行ってしまった。 ・ (ずたずた) になった布を集めて、再利用する方法を考える。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

<p>街の中では、人々はわき目も振らず、すたすたと歩いていく。</p>

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 1 2

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

ふらふら

ぶらぶら

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・朝から () と公園を散歩する。

・いすから、 () と立ち上がる。

・木の枝からみの虫が () とぶら下がっている。

・二つの意見の間を () する。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 1 2

年 組 氏名

1

次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

ぶらぶら

ぶらぶら

略

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

2

次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・朝から () ぶらぶら () と公園を散歩する。

・いすから、 () ぶらぶら () と立ち上がる。

・木の枝からみの虫が () ぶらぶら () とぶら下がっている。

・二つの意見の間を () ぶらぶら () する。

3

1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

今日は一日中重い荷物を運んでいたの、もうぶらぶらだ。

学 年

高

擬音語・擬態語ぎおんご ぎたいごを使いわけよう 1 3

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

ぞくぞく

びくびく

2 次の文のそれぞれの () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・ 一つ自分の番が回ってくるかと思って、 () していた。

・ 今日朝から熱っぽくて、 () する。

・ 小さな巣穴から、ありが () と出てくる。

・ 近所の犬が目の前を通る時は、ほえられないかと () してしまう。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年
高

擬音語・擬態語を使いわけよう 1 3

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

びくびく	ぞくぞく
略	

2 次の文のそれぞれの () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・ いつ自分の番が回ってくるかと思って、(びくびく) していた。
- ・ 今日は朝から熱っぽくて、(ぞくぞく) する。
- ・ 小さな巣穴から、ありが(ぞくぞく)と出てくる。
- ・ 近所の犬が目の前を通る時は、ほえられないかと(びくびく) してしまう。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

お化け屋しきの中は暗くて、背筋がぞくぞくする。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 14

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

とぼとぼ

てくてく

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・日曜日は、近くの河原まで () 歩いていこう。

・私の兄は、非常に長い距離を () と歩き続けた。

・つかれて、 () と歩く。

・思ったように記録がのびず、 () と帰っていった。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 14

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)
擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

とぼとぼ	略	てくてく
------	---	------

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・日曜日は、近くの河原まで (てくてく) 歩いていこう。
- ・私の兄は、非常に長い距離を (てくてく) と歩き続けた。
- ・つかれて、 (とぼとぼ) と歩く。
- ・思ったように記録がのびず、 (とぼとぼ) と帰っていった。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

父は毎日、決まった散歩コースをてくてくと歩く。

学 年

高

擬音語・擬態語ぎおんご ぎたいごを使いわけよう 15

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

とんとん

どんどん

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・教室のドアを、思い切り()とたたく。
- ・やり方がわかると、仕事が()びようしにはかどった。
- ・みんなに呼びかけると、()募金が集まった。
- ・寝ている弟を起こそうと、肩を()とたたいた。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 15

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

とんとん

どんどん

略

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・教室のドアを、思い切り(どんどん)とたたく。

・やり方がわかると、仕事が(とんとん)びようしにはかどった。

・みんなに呼びかけると、(どんどん)募金が集まった。

・寝ている弟を起こそうと、肩を(とんとん)とたたいた。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

弟は、ピアノの練習すればするほど、どんどん上達していった。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 16

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

びしびし

ぴしやり

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・妹の要求を () とはねつけた。

・昨日、母は私を () しかった。

・あまやかさず、() 指導する。

・戸を () としめた。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年
高

擬音語・擬態語を使いわけよう 16

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

ぴしゃり	びしびし
略	

2 次のそれぞれの文の () にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・妹の要求を () () とはねつけた。
- ・昨日、母は私を () () しかった。
- ・あまやかさず、() () 指導する。
- ・戸を () () としめた。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

何とか説明をしようとしたが、彼にぴしゃりとさえぎられてしまった。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 17

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

しみじみ

しげしげ

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・昔のことを思い出して、()と語り合った。

・彼の顔を()と見つめた。

・今、話題の映画は、()した気分になると評判だ。

・父は、スポーツクラブに()と足を運ぶ。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 17

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)
擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

しげしげ	しみじみ
略	

2 次の文のそれぞれの()にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

- ・昔のことを思い出して、()と語り合った。
- ・彼の顔を()と見つめた。
- ・今、話題の映画は、()した気分になると評判だ。
- ・父は、スポーツクラブに()と足を運ぶ。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

できあがった作品に間違いはないか、しげしげとながめる。